

2019年度県予算・施策に関わる

要望書を提出

10月15日、党県議団は次年度に向けた522項目の予算要望書を知事宛てに提出。約30団体との懇談で寄せられた要望も取り上げました。

昨年までは知事が対応しましたが今年の中島正信副知事が対応し、冒頭に井坂団長が県政に是々非々の立場で望んできた党県議団の立場を説明。その後6名の県議が各分野の重点要望をそれぞれ説明しました。

県民の現状や現場実態を知ることが必要だと訴えると、中島副知事は「現場に行くことが大事、職員にもそう話している」と応答しました。



県政要望書を副知事に手渡す6名の共産党県議団

特色ある幼児教育を行っている認可外保育施設



また、無償化により保育所への入所ニーズが高まり待機児童の増加が想定されるため、52%の方が公立認可保育所を望んでいる東京都のアンケート結果も示し、「今後増設する認可保育所を原則とするように国に求めるべき」と迫り、県としての待機児童ゼロに向けた取り組みを質しました。

幼児教育・保育料の無償化 保護者の不安の解消を

無償化の実施時期をはじめとした諸課題について質し、特色ある保育内容で保護者から選ばれ、幼児教育を担ってきた「幼児教育施設」が来年度以降も存続できるよう、「当該施設に通うすべての子どもの無償化を国に要望すべき」と求め、「無償化が実現されるまでは、県独自で保育料を補助すべき」と迫りました。

9月20日、加藤なを子県議(藤沢市選出)が一般質問に立ち、県政の諸課題や県民のいのちと安全を守る施策について質しました。

検察料をどこで知ですか 費用負担の軽減を

自宅等で亡くなられた場合、警察による検視が行なわれ、事件性が疑われる場合は全額公費負担で司法解剖を行います。事件性が認められない場合は遺族の承諾により承諾解剖となる場合があります。東京都では都が負担しますが、神奈川県の場合は検察料(※)や解剖費用は遺族負担となり、30万円を超える事例も見られます。

パンフレット配布を要望 ホームページでの公開も

遺族の負担について「ご遺族と関係者の皆様へ」というパンフレットを配布し県民に周知するように、県警に要望しました。警察本部長は、今後HP等も利用して情報提供に努めると答弁。費用負担の軽減も求めましたが、現時点では国への要望や県の予算措置は行わないと表明。今後設置予定の死因究明等促進協議会において、県の課題、相談窓口の設置、遺族の負担軽減等を検討するよう求めました。



委員会インターネット中継開始

各委員会のインターネット中継(生中継)が試行されました(録画中継は概ね3日後から常時視聴可) 神奈川県議会 検索

第3回定例会(前半)では、以下の意見書などが採択されました

- 障がい者雇用率の算定等について適正な見直しを求める意見書
- 「都市再生機構」賃貸住宅居住者の居住の安定確保を求める意見書
- 「医療的ケア児」の保護者を総合的に支援する取組の充実を求める意見書



オスプレイの飛行中止 日米地位協定の抜本的見直しを

日米地位協定の抜本の見直しを求めた全国知事会の提言(国内法の米軍への原則適用等)を受け、実現に向けた県の取り組みや、事故が続発するオスプレイの飛行中止を強く求めました。知事は「涉外知事会を通じて日米地位協定の改定に向け全力で取り組む、(オスプレイについて)「適切な対応を行うよう国に求める」と回答。



(※) 検察料とは 病院での死亡など、死因が明確な場合は医師が「死亡診断書」を作成します。事故死、自殺、死因が不明の死などの場合は、監察医や警察委託の医師が死因や死亡時刻、異状死かどうかなどを鑑別し(検案と言う)、「死体検案書」を作成します。この料金が検察料です。火葬や戸籍上の手続き等に必要となる死亡届の受理には、死亡診断書が死体検案書が必要となります。

米軍基地・相模総合補給廠(相模原市中央区)への米防空ミサイル部隊司令部の駐留が、10月16日から始まりました。このことが米軍から政府に伝えられたのは9月5日、その後日米両政府で調整協議のうえ、決定事項として防衛省が地元自治体に9月28日に通知。相模原市長は「このような情報が突然に、しかも決定事項として提供されたのは大変遺憾な事態」とコメントしました。兵站基地からインド・太平洋地域のミサイル防衛基地への「機能急変」と言える重大事態に、住民からは「私たちのまちにミサイル部隊司令部はいらない」と抗議の声が高まっています。日本共産党県議団も議会内外で新司令部設置撤回を求めてまいります。



10月31日、新司令部編成式典に抗議する住民のみなさんと藤井かつひこ県議

ヘイトスピーチに抗議 党県議団はヘイトスピーチに抗議してきましたが、10月14日にJR鶴見駅東口で行われたヘイトスピーチへの抗議行動に参加。法務省の「ヘイトスピーチ、許さない」というバナーを掲げて宣伝しました。



木佐木ただまさ県議(鶴見区選出)も参加した10月14日のJR鶴見駅東口での抗議行動

傍聴者もピツクリ 知事が本会議場で暴言

9月14日の県議会で、藤井かつひこ県議が質問を終えて休憩に入ったとたんに黒岩知事が立ち上がり、藤井県議を指さして悪罵を投げつける場面がありました。知事肝いりの『ヘルスケア・ニューフロンティア政策』を批判されたことに逆上してのことでしたが、傍聴していた人は「知事が騒いでいるのでびっくりした。知事の品位を疑います」と驚きを隠せませんでした。党県議団は知事に抗議の申し入れをするとともに、「議場において品位を欠く言動を慎むよう知事に求める決議(案)」を議会で提案しましたが、他会派は「休憩中のことだから」と賛成せず、否決されました。